

南小スタイル（授業編）

研修部

① 学習過程について

つかむ

「課題（めあて）」を子どもたちが自分事とする

※「課題（めあて）」は黒板などに残るようにします。

（「課題」⇒解決すべきこと、「めあて」⇒ゴールの姿や道筋）

考える

子どもたちが自分の思いや考えをもつ

※どの子どもも自分の思いや考えをもつことができるよう補足的な指導を大切にします。

学び合う

子どもたちが自分の思いや考えを伝え合う

※目的・内容・形態を明確にして学び合う活動を行います。

（目的⇒何のために、内容⇒何を、形態⇒どのように）

まとめる

子どもたちが授業での学びを一般化する

※「課題」に対する答えとしてまとめを位置づけます。

※「まとめ」は黒板などに残るようにします。

振り返る

子どもたちが自らの学習について省みる

※「めあて」に対する個々の学習成果や学び方を省みます。

※5～10分の時間を取れるようにしましょう。

確認事項

- ・「課題」的な課題でも、「めあて」的な課題でも、子どもたちには『課題』という言葉で提示する
- ・学習過程に指導の順序はないので、子どもの実態や学習内容に応じて工夫して展開する。

② 板書について

1/4 P 158

問 まことさんの学校の今年の児童数は480人で、10年前の125%にあたります。10年前の人数は何人だったでしょう。

も 10年前 □人 **こ** 今年 480人
100% 125%
1 1.25

見 数直線 **ま** もとにする量を1とす。

自 $\square \times 1.25 = 480$ $\square \times 1.25 = 480$
 $\square = 480 \div 1.25 = 480 \div \frac{5}{4} = 480 \times \frac{4}{5} = 384$

説 10年前の人数□人として1.25をわる。1.25倍すると480人になるから。

ま もとにする量を1とす。何倍かを考えると求められる。

$\square \times 0.15 = 3600$
 $\square = 3600 \div 0.15$
 $\square = 24000$

答え 24000 m²

公園全体□m²を1とし
0.15倍すると3600m²になるから、⇒0.15をわる。

月/日 P〇〇 (学習するページ)	課	ま
問	課題	まとめ
問題に対する 予想や見通し など	子どもたちの 考え	習熟 振り返り

つかむ

考える・学び合う

まとめる・振り返る

確認事項

- ・横書きの場合は三分割での板書を基本とします。
(つかむー考える・学び合うーまとめる・振り返る)
- ・アイコンを使ってシンプルかつ見やすい板書にします。
- ・問題は白チョーク、課題とまとめは赤チョークで囲みます。
※青チョーク必要に応じて活用 (見づらいので字は書かない)

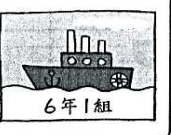
重要度ランキング 赤 > 黄 > 白

③ ノートについて

高学年のノート

10
25

5 縦と横の長さの比が3:4になるように、長方形の形をした旗を作ります。
横の長さを60cmにすると、縦の長さは何cmにすればよいでしょうか。

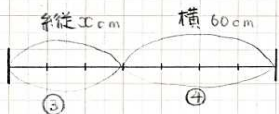


分かっていること

- 横の長さは60cm
- 縦:横 = 3:4

求めること

- 縦の長さ



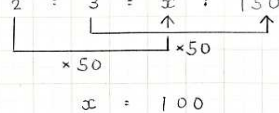
課 横の長さとして、2つの比の性質から縦の長さを求めよう。

自 式 $60 \times \frac{3}{4} = \frac{15}{1} \times \frac{3}{4} = 45$ A. 45 cm

3:4 = $\frac{3}{4}$ にすると $\frac{3}{4}$ が出てくる。

10
25

5 式 $2:3 = x:150$



$x = 100$

A. 100 mL

ま 2つの等しい比があって、そのうちの1つの数量がわからないときは比の性質を使って求められる。

6

① $3:2 = x:8$
 $x = 12$

② $20:12 = 5:x$
 $x = 3$

③ $18:x = 6:5$
 $x = 15$

④ $0.8:6 = 4:x$
 $x = 30$

確認事項

- ・授業ごとに新しいページを用いる
 - ※見開き1ページで1時間分が使用量の目安
- ・ノートの左側には、日付、アイコン、問題番号を書く
 - ※中・高学年は左1マス分開けて線を引いて使用する
- ・日付の横には、学習するページ数を書く
- ・白チョークは黒、赤チョークは赤、黄チョークは青（低学年は赤）で書く
- ・分数は、計算時には2行で表記する